

5.

オフィス関連品

PCR名称	PCR番号
●筆記具類	PA-AS
●日学用・事務用紙製品	PA-AZ
●ファイル・バインダー	PA-AR
●オフィス家具	PA-AK
●広範囲PCR(エネルギー使用型製品)	PA-BQ
●IT機器	PA-CI
●電子黒板を用いた遠隔会議システム	PA-BI
●ポータルサイトサーバ運営における サービスの一種であるICTホスティングサービス	PA-AX
●アプリケーションサービス	PA-CT

※PCR番号は版番号抜きのものです

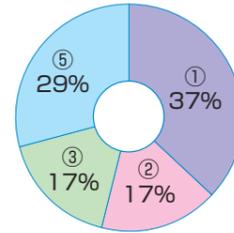
備考

- カーボンフットプリントの検証を受けた製品より、エコプロダクツ2011出展製品を中心に各カテゴリー(用途)別に代表的製品を抜粋・ご紹介しています。全製品に関しましては、巻末収録「CFPマーク使用許諾製品一覧」をご覧ください。
- 2009年度と2010年度以降は、一部CFPの算定範囲が異なります。2009年度の「流通・販売段階」の中の「販売プロセス」について、2010年度以降は試行期間における暫定措置として除いています。
- 各製品の最下段「CO₂排出量割合」に関して、「最終製品」において「0%」と表記があるものは当該プロセスからの排出が「0」であることを示し、「中間材」において「-」と表記があるものは、当該プロセスを算定範囲に含んでいないことを示しています。

5. オフィス関連



事業者名	シヤチハタ株式会社	
対象製品名	油性マーカー「乾きまペン」	最終製品
PCR名称・番号	筆記具類	PA-AS-02
製品の概要 (検証：2010年度)	インキ(油性染料インキ)、本体(再生PP)、キャップ(再生PP)、尾栓(再生PP)、ペン芯ホルダー(PP)、内キャップ(ポリエチレン樹脂)、ペン芯(ポリエステル繊維)、吸収体(ポリエステル繊維) 製品重量：20g	



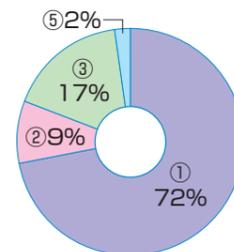
カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
 検証番号：CV-AS02-001

- ▶原料にリサイクル材を使用
- ▶インキ補充、ペン芯交換で繰り返し使えます

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	37%	17%	17%	0%	29%	153g



事業者名	マルマン株式会社	
対象製品名	B5判 エコスパイラルノート	最終製品
PCR名称・番号	日用用・事務用紙製品	PA-AZ-03
製品の概要 (検証：2011年度)	タテ257 Xヨコ182 mm 重量130g本文枚数30枚(1冊あたりで算定)	



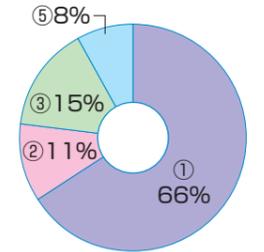
CO₂の「見える化」
 カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
 検証番号：CV-AZ03-001

- ▶太陽光を取り入れた宮崎の自社工場で作られるノート。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	72%	9%	17%	0%	2%	287g



事業者名	株式会社イムラ封筒	
対象製品名	長3窓付き封筒(ロット5000枚)	最終製品
PCR名称・番号	日用用・事務用紙製品	PA-AZ-03
製品の概要 (検証：2011年度)	寸法：120×235mm、紙厚：81.4g / m ² 、製品重量：5.33g、窓寸法：45×90mm、窓材質：OPSフィルム25ミクロン、印刷：表両面1色、内刷なし、口糊：アドヘア糊、ロット数：5000枚、作業方式：封筒製造 平判作業、印刷 一丁刷	



CO₂の「見える化」
 カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
 検証番号：CV-AZ03-006

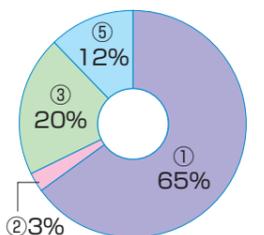
この封筒のカーボンフットプリントの数値は、5000枚製造時の1枚あたりのものです。

- この封筒は、こんな特徴があります。
- ▶使い易いパステル調の色合いです。
- ▶中身が透けにくい素材のため内面印刷が必要ありません。(印刷時の環境負荷を軽減)
- ▶窓素材はリサイクル率50%のフィルムを利用しています。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	66%	11%	15%	0%	8%	25.0g



事業者名	株式会社イムラ封筒	
対象製品名	角2茶殻封筒(ロット3000枚)	最終製品
PCR名称・番号	日用用・事務用紙製品	PA-AZ-03
製品の概要 (検証：2011年度)	寸法：240×332、紙厚：68g / m ² 、窓：なし、印刷：表両面1色、口糊：なし、ロット数：3000枚、製品重量：12.1g、作業方式：封筒製造 輪転作業、印刷 一丁刷	



CO₂の「見える化」
 カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
 検証番号：CV-AZ03-020

この封筒のカーボンフットプリントの数値は、3000枚製造時の1枚あたりのものです。

- この封筒は、こんな特徴があります。
- ▶この封筒100枚あたり500mlペットボトル約50本分の茶殻が配合されています。
- ▶茶殻の粒の効果で中身が透けにくく、内面印刷が必要ありません(印刷の負荷を軽減)。
- ▶一般的な同サイズの封筒より20%薄い紙を利用しています。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	65%	3%	20%	0%	12%	43.7g

1 食品関連

2 生活用品

3 衣料関連品

4 印刷関連

5 オフィス関連

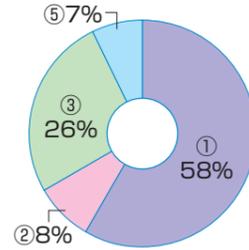
6 土木・建築関連

7 その他産業用

5. オフィス関連

KOKUYO

事業者名	コクヨS&T株式会社	
対象製品名	チューブファイル(エコツインR)(間伐材使用)	最終製品
PCR名称・番号	ファイル・バインダー	PA-AR-01
製品の概要 (検証：2009年度)	A4縦、とじ厚50mm、2穴 色(青)	



2,030g
CO₂

カーボンフットプリント
試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AR-027

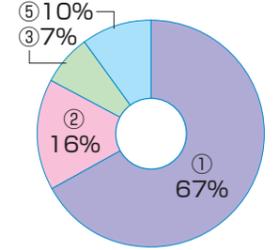
※実際に販売されている商品には、CFP マークは表示されていません。

- ▶ 表紙芯材に間伐材を使用しています。
- ▶ とじ具と表紙を簡単に分離することができます。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通・販売	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	58%	8%	26%	0%	7%	2,030g

KOKUYO

事業者名	コクヨファニチャー株式会社	
対象製品名	ローパーティション フレクセル	最終製品
PCR名称・番号	オフィス家具	PA-AK-01
製品の概要 (検証：2009年度)	サイズW900mm×H1135mm 製品重量：18kg	



46kg
CO₂

カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AK-001

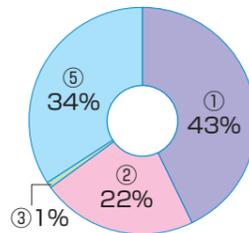
※写真のうち、パネル部分が該当商品です

- ▶ 梱包材削減を実施しているため、梱包材由来の排出量は、極めて小さい。
- ▶ 使用・維持管理段階におけるGHG排出量はありません。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通・販売	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	67%	16%	7%	0%	10%	46kg

清水印刷紙工株式会社

事業者名	清水印刷紙工株式会社	
対象製品名	エコプロダクツ2010用 ポリプロピレン(PP)製ホルダー	最終製品
PCR名称・番号	ファイル・バインダー	PA-AR-02
製品の概要 (検証：2010年度)	PPに4色カラー印刷した書類用ホルダー(210mm×310mm、27.1g/部)	



223g
CO₂

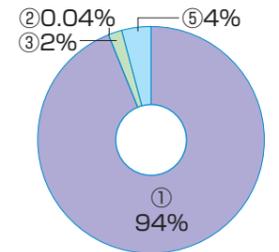
カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AR02-001

- ▶ 単独でのCO₂排出量の算定よりも、社内的に異なる資材・生産方式の場合の感度分析結果を活用できたことは大変参考になった。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	43%	22%	1%	0%	34%	223g

KOKUYO

事業者名	コクヨファニチャー株式会社	
対象製品名	ローパーティション フレクセル	最終製品
PCR名称・番号	オフィス家具	PA-AK-01
製品の概要 (検証：2009年度)	サイズH1135mm 製品重量：2kg	



23kg
CO₂

カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AK-002

※写真のうち、コーナーポストのみが該当商品です

- ▶ 梱包材削減を実施しているため、梱包材由来の排出量は、極めて小さい。
- ▶ 使用・維持管理段階におけるGHG排出量はありません。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通・販売	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	94%	0.04%	2%	0%	4%	23kg

1 食品関連

2 生活用品

3 衣料関連品

4 印刷関連

5 オフィス関連

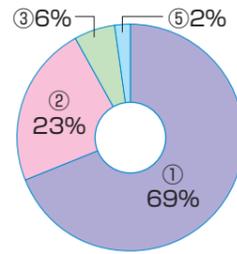
6 土木・建築関連

7 その他産業用

5. オフィス関連

KOKUYO

事業者名	コクヨファニチャー株式会社	
対象製品名	システム収納家具EDIA(エディア)BWU-K69SAW/BWU-K69F1	最終製品
PCR名称・番号	オフィス家具	PA-AK-03
製品の概要 (検証：2011年度)	サイズW900mm×D450mm×H1185mm(ベース部除く) 製品重量：36kg(ベース部除く/梱包材含む)	



122kg
CO₂

CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AK03-001

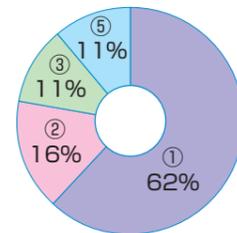
- ▶製品の95%以上がスチールで出来ています。
- ▶使用・維持管理段階におけるGHG排出量はありません。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	69%	23%	6%	0%	2%	122kg

大カムラ

株式会社 岡村製作所

事業者名	株式会社 岡村製作所	
対象製品名	スカラーライト デスク(5号サイズ)	最終製品
PCR名称・番号	オフィス家具	PA-AK-01
製品の概要 (検証：2009年度)	5号で従来比20%ダウン(当社比)の8.2kgと業界最軽量クラスを実現。子どもが、机を持ち運びやすいよう、天板下にトッテを設けました。底に開いた穴と入口の左右に設けられた溝より、簡単に掃除ができるようになりました。	



23.6kg
CO₂

カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AK-004

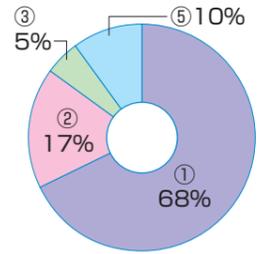
- ▶材料を調達する段階での輸送作業等によるCO₂排出量が大半を占めるため、構造と使用材料の見直しによる軽量化を実施。
- ▶棚を重ねられるようにして、「生産」プロセスにおける収納効率の改善。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通・販売	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	62%	16%	11%	0%	11%	23.6kg

大カムラ

株式会社 岡村製作所

事業者名	株式会社 岡村製作所	
対象製品名	スカラーライト チェア(5号サイズ)	最終製品
PCR名称・番号	オフィス家具	PA-AK-01
製品の概要 (検証：2009年度)	5号で従来比30%ダウン(当社比)の3.2kgと業界最軽量クラスを実現。背に開いた大きなと把手は、持ち運びに大変便利です。後脚を大きく傾けたことで後ろに倒れにくく、安全に使用できるようになりました。	



13.2kg
CO₂

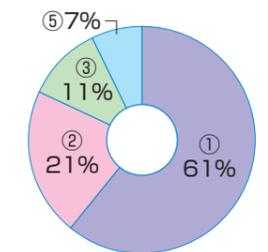
カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AK-005

- ▶材料を調達する段階での輸送作業等によるCO₂排出量が大半を占めるため、構造と使用材料の見直しによる軽量化を実施。
- ▶フレームを重ねられるようにして、「生産」プロセスにおける収納効率の改善。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通・販売	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	68%	17%	5%	0%	10%	13.2kg

ITOKI

事業者名	株式会社イトーキ	
対象製品名	CZデスク CZN-127HA-W7W7	最終製品
PCR名称・番号	オフィス家具	PA-AK-02
製品の概要 (検証：2010年度)	平机タイプW1200 重量：28.1kg (付属品一式 梱包材含む)	



96kg
CO₂

カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AK02-001

- ▶原材料に再生材を使用
- ▶解体容易設計
- ▶使用材料の大部分を占める鉄はリサイクルを行っているため、廃棄・リサイクル段階の排出量は比較的小さい

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	61%	21%	11%	0%	7%	95.8kg

1 食品関連

2 生活用品

3 衣料関連品

4 印刷関連

5 オフィス関連

6 土木・建築関連

7 その他産業用

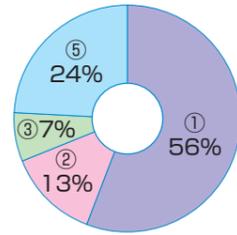
5. オフィス関連



事業者名	株式会社イトーキ	
対象製品名	エビオスチェア	最終製品
PCR名称・番号	「オフィス家具」	PA-AK-02
製品の概要 (検証：2010年度)	ハイバック アジャスタブル肘付 重量：18.9kg (付属品一式、梱包材含む)	



カーボンフットプリント試行事業
http://www.cfp-japan.jp
検証番号：CV-AK02-003



- ▶ 樹脂材料は使用総量の6割が再生材。
- ▶ パーツ数を削減しており、組み立ての際に使用するビスの数は3本で済むためリサイクルが容易。

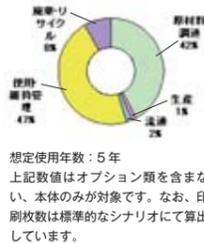
プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	56%	13%	7%	0%	24%	98.5kg



事業者名	株式会社リコー	
対象製品名	デジタルフルカラー複合機 imagio MP C5001 SPF	最終製品
PCR名称・番号	広範囲PCR(エネルギー使用型)	PA-BQ-01
製品の概要 (検証：2011年度)	コピー、プリンタ、ファクス、スキャナ、W-NET FAX、IP-FAX機能を搭載 連続印刷速度(A4ヨコ)カラー 50枚/分 モノクロ50枚/分 本体大きさ：幅670×奥677×高895mm、本体重量130kg(オプション類含まず)	



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
http://www.cfp-japan.jp
検証番号：CV-BQ01-001



- ▶ リコー独自のIH定着方式や低融点トナーの採用により、前身機(imagio MP C4500 SPF)と比較して、使用時消費電力量を約40%低減(TEC※)。
- ※国際エネルギー省プログラムで定められた測定法による数値。

写真は imagio MP C5001 SPF に imagio 給紙テーブル PB3100 を装着したものです。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	42%	1%	2%	47%	8%	1620kg



事業者名	(株)日立製作所 情報・通信システム社	
対象製品名	AX2530S-24T(コンパクトギガビットL2スイッチ)	最終製品
PCR名称・番号	IT機器	PA-CI-01
製品の概要 (検証：2011年度)	コンパクトなボディで更なる高性能と高信頼性をめざしたギガビットレイヤ2イーサネットスイッチ ・最大スループット：28Gbit/s・想定使用年数：10年・PoE機能：無 ・回線速度とポート数：1Gbit/s×28・管理機能の有無：SNMP機能 ・IPフィルタリング機能：有	

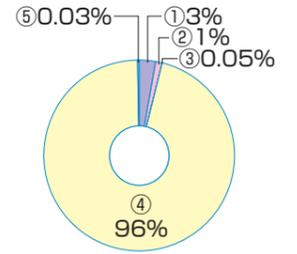


CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
1Gbit/s・1年あたり
[Gbit/s年]
http://www.cfp-japan.jp
検証番号：CV-CI01-002

AX2530S-24Tを、従来機種AX2400S-24Tと比較すると以下の表になります。

製品名	対象製品	従来機種
製品名 型式	AX2530S-24T AX-2530-24T-B	AX2400S-24T AX-2430-24TE-B
CO ₂ 排出量	製品あたり 1Gbit/s・1年あたり ¹⁾	製品あたり 2.49 t-CO ₂ 10.4kg-CO ₂ /Gbit/s年
主な製品仕様	最大スループット	28Gbit/s
	ポート数	28
	回線速度	10Gb/s/100G
	管理機能の有無	SNMP機能
	IPフィルタリング機能の有無	IPフィルタリング機能あり
測定条件	使用時電力、最大スループットは、省エネ法(2011年度規定)に基づき測定	

※1 2011年11月発表の従来機種(検証番号：CV-CI01-001)と比較。
※2 1Gbit/s・1年あたりのCO₂排出量は、製品あたり100kg-CO₂排出量を最大スループット(28Gbit/s)に基づき算出。
※3 省エネ法で定められたスイッチの測定法の準拠に準拠しています。



高性能ASIC (Application Specific Integrated Circuit)の開発により、処理能力あたりの消費電力を低減しています。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	3%	1%	0.05%	96%	0.03%	1490kg



事業者名	(株)日立製作所 情報・通信システム社	
対象製品名	日立アドバンスサーバ HA8000/RS110xL	最終製品
PCR名称・番号	IT機器	PA-CI-01
製品の概要 (検証：2011年度)	・複合理論性能：140GTOPS・想定使用年数：5年・I/Oスロット数：2 ・CPUソケット数：1・CPUの名称：インテルXeonプロセッサ E3-1280	

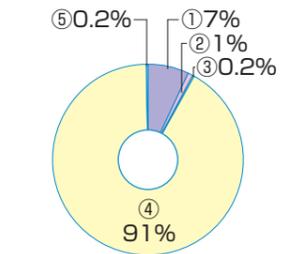


CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
1GTOPS・1年あたり
[GTOPS年]
http://www.cfp-japan.jp
検証番号：CV-CI01-004

日立アドバンスサーバ HA8000/RS110xLを、従来機種HA8000/RS110xJと比較すると以下の表になります。

製品名	対象製品	従来機種
製品名 型式	日立アドバンスサーバ HA8000 HA8000/RS110xL	日立アドバンスサーバ HA8000 HA8000/RS110xJ
CO ₂ 排出量	製品あたり 1GTOPS・1年あたり ¹⁾	製品あたり 2.14 t-CO ₂ 2.06kg-CO ₂ /GTOPS年
主な製品仕様	複合理論性能	140GTOPS
	I/Oスロット数	2
	CPUソケット数	1
	CPUの名称	インテル Xeon E3-1280
	測定条件	使用時の電力は、省エネ法(2011年度規定)で定める測定方法(条件、構成)に基づき測定されています。

※1 2011年11月発表の従来機種(検証番号：CV-CI01-003)と比較。
※2 1GTOPS・1年あたりのCO₂排出量は、製品あたり100kg-CO₂排出量を複合理論性能(140GTOPS)に基づき算出。
※3 省エネ法で定められたサーバの測定法の準拠に準拠しています。



高効率電源採用。変換効率を向上させることで電力損失を低減し、より効率よく電力を使用することで、エネルギー消費を抑えています。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	7%	1%	0.2%	91%	0.2%	2.06kg

1 食品関連

2 生活用品

3 衣料関連品

4 印刷関連

5 オフィス関連

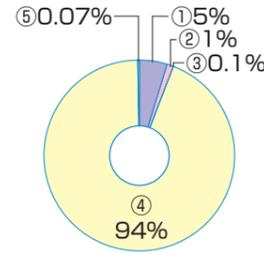
6 土木・建築関連

7 その他産業用

5. オフィス関連

HITACHI Inspire the Next

事業者名	(株)日立製作所 情報・通信システム社	
対象製品名	Hitachi Adaptable Modular Storage 2500	最終製品
PCR名称・番号	IT機器	PA-CI-01
製品の概要 (検証：2011年度)	・記憶容量：442.6TB ・想定使用年数：5年 ・用途：その他のもの ・ディスク回転数：7.2krpm ・ディスクサイズ、台数：3.5inch-480台	



自社比*
-51.8%
CO₂
従来機種 (発売時期 2006年4月) と比較
CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-CI01-008

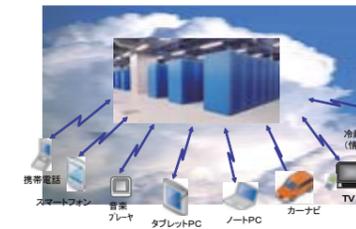
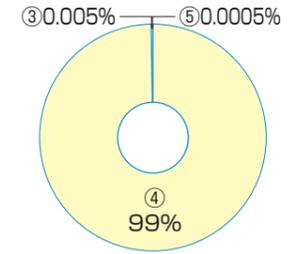
項目	従来機種	対象製品	従来機種
製品名	Hitachi Adaptable Modular Storage 1000	Hitachi Adaptable Modular Storage 2500	Hitachi Adaptable Modular Storage 1000
型式	HIT-4000-9902(NV)HT-F4000-9902	HIT-4000-9901(NV)HT-4000-9901	HIT-4000-9901(NV)HT-4000-9901
CO ₂ 排出量	製品あたり (1TB・1年あたり) 351t-CO ₂ 159kg-CO ₂ /T・年	製品あたり (1TB・1年あたり) 166kg-CO ₂ /T・年	製品あたり (1TB・1年あたり) 322t-CO ₂ 159kg-CO ₂ /T・年
記憶容量	442.6TB	251.7TB	442.6TB
想定使用年数	5年	5年	5年
用途	その他のもの	その他のもの	その他のもの
ディスク回転数	7.2krpm	7.2krpm	7.2krpm
ディスクサイズ、台数	3.5inch-SATA-480GB 3.5inch-480GB	3.5inch-480GB	3.5inch-480GB

電力効率の高い記録媒体を採用しています。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(t-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	5%	1%	0.1%	94%	0.07%	351t

UNISYS

事業者名	日本ユニシス株式会社	
対象製品名	ICTホスティングサービス	最終製品
PCR名称・番号	ポータルサイト・サーバ運営業におけるサービスの一種であるICTホスティングサービス	PA-AX-02
製品の概要 (検証：2010年度)	サーバ：Intel Xeon 2GHz SingleCore相当+Memory1GB(1024MB)、 ストレージ：50GB、内部ネットワーク、インターネット接続回線：100Mbpsベストエフォート型共有回線+グローバルIPアドレス1個	



3.42t
CO₂
カーボンフットプリント
取引事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-AX02-001

計算対象期間
2010/11/01~2010/12/31
サーバSPEC 12.9SPECint2006rate
ストレージ容量 50GB
ネットワーク帯域幅 100Mbps
iDC 電力消費量 2ヶ月間の実測データを
基に、1年分のCO₂排出量を計算して
おります。
サーバSPECあたりのGHG排出量
18.8kg-CO₂e/SPEC
ストレージ容量あたりのGHG排出量
0.848kg-CO₂e/GB
ネットワーク帯域幅あたりのGHG排出量
30.8kg-CO₂e/Mbps

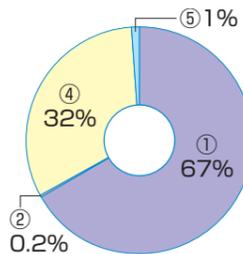
サービス提供、維持管理におけるエネルギー効率向上への取り組み

- ▶ 省エネICT機器の導入
- ▶ 仮想サーバの動的配置
- ▶ 施設の高温度設定

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(t-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	0%	0%	0.005%	99%	0.0005%	3.42t

日立ソリューションズ

事業者名	株式会社日立ソリューションズ	
対象製品名	電子黒板「StarBoard」を用いた遠隔会議システム	最終製品
PCR名称・番号	電子黒板を用いた遠隔会議システム	PA-BI-02
製品の概要 (検証：2010年度)	StarBoardは、PC画面を映写したボード上で書き込みやパソコン操作ができ、複数のボード間で双方向に書き込み可能な電子黒板です。TV会議システムと組み合わせることで声と映像と会議資料を共有した遠隔会議が行えます。	



4,750kg
CO₂
想定使用年数：10年
カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-BI02-001

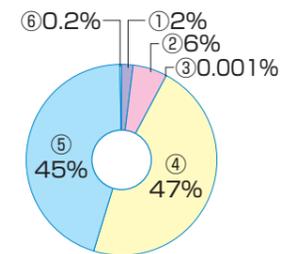
注記
左の数値(4,750kg)は、当製品を使用し、次のシナリオで会議を実施する際に、ライフサイクル全体を通して排出されるGHG排出量です。
<当製品のシナリオ>
(株)日立ソリューションズの東京一大会場の2拠点間(500km)で、1回6人、1.15時間の会議を週0.89回実施(年間53.2時間、48.3回)その際のシステム構成はCFP制度の公式サイト(<http://www.cfp-japan.jp>)に詳細情報として開示しています。
会議1時間あたりのGHG排出量8.93kg/会議1時間上記の数値(8.93kg)は当製品を使用し、本シナリオで1時間の会議を実施する際にライフサイクル全体を通して排出されるGHG排出量です。

▶ 原材料の負荷低減に加え、使用時の負荷を低減するために、ソフトウェアの使い勝手を改善し全体の負荷を低減します。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	67%	0.2%	0%	32%	1%	4,750kg

UNISYS

事業者名	日本ユニシス株式会社	
対象製品名	LearningCast®	最終製品
PCR名称・番号	アプリケーションサービス	PA-CT-01
製品の概要 (検証：2011年度)	SaaS型企業向け教育プラットフォーム提供サービス ベーシックプラン10利用ID	



80.5kg
CO₂
CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号：CV-CT01-001

データ収集期間
2010/1/1~2011/8/31
10ヶ月の実績データを基に、1年分のCO₂排出量を計算しています
利用シナリオ
LearningCastを1日あたり4.5時間、1年間49日使用
算定単位
LearningCastを10利用IDで1年間使用
算定対象
アプリケーションサービス利用PCの製造・使用・廃棄に関するCO₂排出量を算定します

- ▶ 事業者のサービス提供基盤としてICTホスティングサービスを使用。
- ▶ 消費者の利用段階での値が大きいため、消費者努力の影響が大きい。

プロセス名	① 事業者調達	② 事業者提供・維持管理	③ 事業者廃棄・リサイクル	④ 消費者調達	⑤ 消費者利用	⑥ 消費者廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	2%	6%	0.001%	47%	45%	0.2%	80.5kg

1 食品関連

2 生活用品

3 衣料関連品

4 印刷関連

5 オフィス関連

6 土木・建築関連

7 その他産業用